

各地で実施している食品リサイクルループ

愛知県ヒラテ産業・JAグループ【愛知県】

ユニーが最初に取り組み、2005年から事業を始めたリサイクルループです。愛知県刈谷市の再生利用事業者（ヒラテ産業：堆肥化）とJAグループとの連携で、現在は、愛知県下の刈谷市・知立市・安城市・岡崎市のアピタ・ピアゴの店舗から食品残さを回収し堆肥を製造。その堆肥を使って栽培した野菜や果実を再び店舗で販売しています。農業者とのパートナーシップは、JAあいち海部・JAあいち中央と組んで、地産地消に取り組んでいます。

- 2007年…食品リサイクル法再生利用事業計画を全国初の認定
- 2007年…第1回食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞受賞
- 2011年…再生利用事業計画変更の認定



2007年10月第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞受賞

●サークルKサンクスを環の中に組み入れ、さらに食品残さの搬入地域を拡大しました



D.I.Dバイオマスリサイクルシステム・JAグループ【愛知県】

2008年、愛知県一宮市の再生利用事業者（ディアイディー：堆肥化）に一宮市・稲沢市・江南市・豊山町にあるアピタ・ピアゴの店舗から食品残さを搬入し、JAグループとの連携でリサイクルループを構築しました。当初から複数の自治体にある店舗からなるリサイクルループで、現在ではさらに拡大し、大口町・岩倉市・小牧市の店舗からも食品残さを搬入しています。

- 2008年…食品リサイクル法再生利用事業計画認定（ユニーで2例目）
- 2013年…再生利用事業計画変更の認定

●サークルKサンクスを環の中に組み入れ、さらに食品残さの搬入地域を拡大しました



石川県の食品リサイクルループ構築

石川県の食品リサイクルループの構築にあたっては、再生利用事業者と農業者が再生利用事業計画への参加が初めてだったこと、また食品関連事業者も含め課題を抱えていたことから、農林水産省の「平成24年度農山漁村6次産業化対策事業」の補助事業として、「石川県食品リサイクルループ構築協議会」を設置し、食品リサイクルループの構築を行いました。

2013年の1月から3月にかけて、農産物の生産計画の話し合いや堆肥生産の問題点を検証した検討会を3回、先進事例の視察を中心に生産者との意見交換を行った研修会を2回実施しました。

リサイクルループ構築の課題と解決

リサイクルループを構築するためには、食品関連事業者・再生利用事業者・農業者がそれぞれの役割を果たし、パートナーシップを構築することが重要ですが、事業開始前には以下の課題がありました。

- ①ユニーでは、食品残さの排出管理はできているが、農産物の販売体制が未整備であった。
- ②トスマク・アイ（特定肥飼料等製造業者）は、登録再生利用事業者であったが、JAのニーズに合った堆肥の品質向上に課題があった。
- ③JA松任（特定肥飼料等の利用者）は、食品リサイクル堆肥を利用した農産物の生産経験がなく、新たな生産計画が必要であった。

これらの課題解決には、愛知県で2件の堆肥化リサイクルを先進的に推進し、指導的立場にあった2名の指導員が大きな役割を果たしました。堆肥の品質向上に関しては、他の東海・北陸地域の優良先進事例との比較、分析を通して課題を抽出し、生産工程の見直しにつなげました。また農産物の生産と物流に関しても、JAとユニー青果仕入れ担当者に、愛知県の事例に基づいた助言を行い、生産計画・販売計画の策定ができました。



検討会の実施



指導員による堆肥製造施設の確認

愛知県のリサイクルループ生産者との交流

愛知県で当初より食品リサイクルループの農産物の生産に携わっていただいている、JAあいち海部エコ部会の皆さんと今回新たにループに参加するJA松任の農家の皆さんとの意見交換会を行いました。意見交換会では食品リサイクル堆肥を利用した農業の利点についてなどの質問が出され、活発な意見交換がなされました。



生産者同士による意見交換会

完成したリサイクルループ

2010年から石川県白山市、金沢市の店舗から排出される食品残さを再生利用事業者（トスマク・アイ：堆肥化）に搬入し堆肥を製造しています。2012年度よりJA松任でこの堆肥を使って栽培した作物を石川県を中心とした北陸地区の店舗で販売する計画です。

- 2013年3月…食品リサイクル法再生利用事業計画認定（ユニーで15例目）

